

●主な活動の記録 (7月~9月)

7月13日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加14名。午前中、三手に分かれての活動。

- ①この月の27日開催予定の「山の日・川の日」協賛イベント、作業体験とクラフト指導の準備として、子供たちに竹伐りを行う現場のアクセスと作業現場の整備。
- ②モミジ谷遊歩道両側に大きなナラ枯れが3本あり、その除伐。いずれもかなり大きなもの故、チルホールを使っての安全な作業を心掛けた。途中通りかかったハイカーからは、有難うの声掛けがあった。
- ③相次いでイベント等におけるクラフト指導に使用する材料・備品の点検整備を女性を中心に行う。午後からは、チェーンソーの整備、炭窯周辺の草刈り、前回本伏せをしたホダ木の天地返し。まず上をトンカチで叩き、菌に刺激を与え、上下を逆転させる。今後も数ヶ月に一度この作業の繰り返しが必要との事。二年後に美味しいシイタケが出るのを楽しみ。



==ナラ枯れ除伐作業==

ホダ木の天地返し

7月15日(月) 山もりてんこ森 県高取森林技術センター

県主催の本イベント、本年初めて当センターで開催。地の利のいい事からが、天候はすぐれなかったが、出足は比較的好調。開場と同時に、来場した親子づれが、我がテントに訪れ、子供たちは早速、用意したジージゼミ・ガリガリトンボ・竹笛づくりを体験、出来上がった作品で遊んで楽しんだ。会場内研修室では、吉野杉で作ったビオラ・バイオリンの演奏が披露された。

午後は客足が徐々に少なくなり、二時半過ぎには撤収を開始。全体ではこの日の参加者約450名。



== 会場風景 ==

7月19日(金) 環境出前講座 二名バンビーホーム

昨年に引き続き開催。好評だったせいか、今回は今回参加の児童は122名(1~6年)と非常に多く、クラブ員10名が指導にあたった。低学年と中・高学年二つの部屋に分かれ、クラブの活動紹介続いて、環境教育として低学年は「森の働き」、中・高学年は森林に関連しての環境問題を開設後、クラフト指導。昨年と異なるものをとの要望で、低学年は木の大中小の輪切りを組合せ、サインペンで色付け、目鼻を付けたりして、ヒートン、リリアンを通してペンダントづくり。3年生はガリガリトンボづくり、今回はペアーを組ませて、三角ヤスリを使って本体に沢山の擦り目を入れる共同作業を試みる。多少苦戦したり、強く擦り過ぎ折ってしまい、始めからやり直す場面も。これに丸ピンで羽根を差しこみ出来上がり。高学年は、竹の大中小の輪切りを組合せ、これに木の実や動眼を付けたりしての置き物づくり。中には、何個も

組合せ複雑なものや、愛嬌のあるもの等独創的なものもあり、中々の出来栄え。大人数かつ一時間以内でと心配したが学校側スタッフ10名の協力もあり、無事に終了。皆はそれぞれ楽しんでくれた模様。



製作風景



作品で遊ぶ



== 作品例 ==



7月27日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

この日は、県「山の日・川の日月間」の協賛イベントとして、一般参加者を募っての開催。3家族13名に加え、天理で活動されている団体の代表者が竹笛づくりを教えるに欲しいと参加。本来なら、森林作業体験としての竹伐りを予定していたが、生憎の雨模様の為、作業は中止とし、クラフト体験を午前中実施。まずメインの竹笛づくり、クラブ員の指導の下、本体の穴に合わせ吹き口を合わせ、上手く音の出る位置でホットボンドで固定。早速上手く鳴る事を確認後次へ。木の輪切りを組合せてのモクマルクンづくり。動眼・木の実を付けたり、サインペンで色付けした。あと一つは、木の小枝を使っての、モックンづくり。先を尖らせて色付けし鉛筆状にし、これをペンダント風にしたたり、動眼を付けてピノキオ風と色々工夫してつくった。中には親が童心に帰り、子供をさておき、自身が楽しむ場面も。午後は次回に向けて、クラフトの材料、器具・備品の点検、整理。この日のクラブ員の参加は14名。



竹笛指導



音を楽しむ



製作風景



8月8日(木) 環境出前講座 富雄第三バンビーホーム

昨年に引き続き要請を受けて開講。参加者1~6年生56名、先生方5名、当クラブより9名が指導にあたった。まず、クラブの活動紹介に続いて、森の役割についての解説後、森の恵みを楽しむクラフト。学年単位で3グループに分かれ内容を変えての作品作り。1~2年ガリガリトンボ、3年竹の輪切り大中小組合せて置物、4~6年竹の知恵の輪。ガリガリトンボは、2人一組での作業、予め印をつけて置いた割箸をヤスリを使って擦り紙の羽・丸ピンをトンカチで打ち込み出来上がり。擦る手間を省いた者は、擦り棒で擦ってもなかなか羽がまわらずベソかく子も。置物づくりは、竹の大中小の輪切りをは、さすが高学年、分かりが早く、早速知恵を出し合いながら和やかに遊んでいた。皆一様に楽しんでくれ、予定通り昼前に終了。



活動紹介



製作中



遊ぶ



作品

8月10日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

本年2回目の、県山の日・川の日協賛イベントを開催するも、猛暑のせいか一般参加は一家族4名。クラ

ブ員数名がジージーゼミ・知恵の輪づくり等を指導。子供たちは自分で作った作品で早速遊んでいた。他のクラブ員は、まほろば展望台近くの枯損木の除伐に5名が、残りはクラフト材料並びに用具の大整理。枯損木の処理は、台風接近の予報あり、展望台建物の破損の恐れのため急遽処理することに。伐倒方向を慎重に見定め、チルホールを使って安全に倒した。たまりに貯まったクラフト材料、天日干しをしながら、今後使いやすいように用途別に整理、一部やり残したが次回に。この日のクラブ員の参加は13名。



クラフト体験



伐倒準備



クラフト材料整理

8月23日(金) 環境出前講座 柳生バンビーホーム

児童18名、先生3名参加の下、当クラブより3名が出向き開講。クラブ紹介に続き、森の働きについて、皆と一緒に考え、質問を交えながら話を進め、主だったもの5つつが出揃ったところで終了。つづいて、クラフト指導。本日のテーマは”自分で作って遊ぶ”。最初はジージーゼミづくり、手順を説明しながら全員そろって作って行く。仕上がってもノリが乾くまで遊べないので、横に置いて次にガリガリトンボづくり。本体となる割箸に、予め付けて置いた切り目を三角ヤスリでこする作業を、擦り手持ち手の2人一組での作業。途中手がしんどいと言いつつも、必死の作業。中休みの間、ジージーゼミの鳴らし方指導。一部鳴らないもの、まわし棒を差替え、全員無事成功を確認し、ガリガリトンボに紙の羽根を丸ピンで止め仕上り。これも全員上手くいく。この間、時間のある子はサクラの小枝の先を尖らしエンピツくん造り。リリアン糸をヒートンでつけストラップ状に。これにて終了。



== 製作中 ==



ジージーゼミで遊ぶ

8月24日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

連日の猛暑続きのせい、この日は参加者11名と少な目。男性は”永遠の森”下草刈りに頂上展望台へ。手鎌は坪刈り、下刈り器では全面刈り。心配していた植樹したサクラは陽当たりがいいせい、ことのほかしっかりと育っており、雑草もしっかり生い茂っていた。一部刈り残しがあるものの、昼過ぎに子ども交流館に戻り昼食。午後は下刈り器の点検整備。5台ほど動かぬものあり修理へ。女性3名は、9月に予定の藍染のための器具備品の点検。



== 作業風景 ==



下刈り器点検整備

9月14日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者 14 名のうち女性三名は、料理体験館で初めて藍染めに挑戦。海老沢理事が自宅で種から育てた生の藍を持参。もぎ取った葉をミキサーにかけ、ろ過した液に布地を 30 分ほど浸した後、空気晒し。今回は晒す時間が十分でなかったのか、発色度合いは不十分。男性は、「緑の募金公募事業」モミジ谷の環境整備。まず整備後に植樹するためのモミジの実生を探し、目印の杭を打ち込む。あまり見つからなかった。午後は、主に管理道を挟んだ反対側を整備。こちらには、実生が固まって生えているところがあり、テープを張って養生し大きくなるのを待つことに。この間、道路わきのナラ枯れ数本の除伐や、次回の作業に向け除伐する大き目の雑木を選木し、テープをつける。最後に器具の整備をし、解散。



藍染め



実生苗の養生



ナラ枯れの処理

9 月 28 日 (土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加 15 名。午前中、女性 3 名は 10 月 5 日奈良阪で開催のイベントのための器具類の準備。男性 7 名は、野鳥の森での秋の収穫に向けて、アクセス並びに周辺を草刈り作業を中心に整備。5 名は頂上展望台”永遠の森”で前回の作業でし残した部分の下草刈り。昼前で作業を終わる頃になって、3 名がスズメバチ数匹の襲撃を受ける事故が発生。道具類はそのまま静かに現場を離れ、まずは手持ちの簡易吸引器で、応急処置をし軽トラで子ども交流館へ戻る途中早、一名にアナフィラキシーショック反応（痺れ）が出始めたので、救急車の出動を要請。一名は奈良総合医療センターへ、比較的症状の軽い二名は田北病院へ。その後の連絡では救急処置のおかげで大事に至らず、三名共に無事、その日のうちに帰宅を許された。巣は後日、県が手配の業者により除去。これから蜂の動きが活発になる時期を迎え、注意が必要。午後は、仮払い機の整備。

ハチに注意！！



pixta.jp - 7409898